

秋田

人 まち くらし



ドイツ。東京。佐賀。

遠い地から来て

秋田^{ここ}市で暮らしている3人^{ここ}のかたに

秋田の人、秋田のまち、

秋田のくらしをお聞きしました。

3人のお話を聞いていて

私たちが忘れがちな秋田市が見えました。

私たちが気づかなかった秋田市も見えました。

私たちが進むべき

秋田市の未来も見えてきました。



とにかくみんな親切。

秋田の人

昨年6月、レナさんが秋田駅のホームに降り立ったときはもう夜になっていました。「暗いし、雨も降っていたし、ちよつと不安でした」。遠く離れた場所でも勉強してみたい、と選んだ日本。故郷ドイツから約1万キロも離れ、独りで暮らすにはさぞ心細かったことでしょう。そんなレナさんを勇気づけてくれたのは秋田の人の「親切さ」でした。身に染みてそれを感じたのはレナさんが病院に行った時のこと。「言葉がうまく通じなくて困っていたのです



レナ・リンクさん(雄和)
Lena Link

ドイツ南西部のマンハイムにあるマンハイム大学3年生。昨年6月から12月まで、雄和にある国際教養大学へ留学。出身はドイツの首都ベルリン。



国際教養大学の図書館はとても落ち着いた場所。勉強もはかどりました！

が、看護師さん、そして周りのかたも一緒にあって身振り手振りを交え、一生懸命、私に説明してくれたんです」。その時の感謝の気持ちは今でも強く心に残っているそうです。

大学でもたくさんの方に恵まれ、また、仲の良い友だちとダンスチームを作るなど、楽しさいっぱいの

秋田のまち

学生生活。快適な環境で勉学に励み、すてきな仲間たちと囲まれて有意義な毎日を送ることができました。

「秋田市は自然が豊か」と話すレナさん。「よく海を見に行きました。自転車を1時間くらいこいで、海を見ていると気持ちがいっぱい。海を見ていると、きれいな海、そして私が住んでいる雄和は緑もいっぱい」。雄和の豊かな森には、秋に秋田を訪れたお父さん、お母さんも感動していたそうです。そしてもう一つレナさんが感じたのがまちのきれいさ。

秋田の暮らし

「ごみが落ちていないきれいな街並み」も秋田市の印象として残ったようです。



「秋田の海が大好き」というレナさん。お気に入りは新屋のももさだ海岸。

ドイツの朝食はほとんどがパン。「日本食が大好き」と話すレナさんにとって朝から温かいご飯が出るのはちよつと感激でした。すし、焼き鳥にも目がなく、それからSAKE(日本酒)も少々たしなむとか…。

「(ここ)秋田市で異文化を体験できたのは幸せ」と話すレナさん。ドイツへ帰る前に秋田のみなさんへ、
「本当にありがとう」

もっとアピールしようよ!

秋田の 人

秋田県出身ながら東京での生活が長かった谷口さん。初めて暮らす秋田市のことを知るため、積極的に市内の名所めぐりや温泉めぐりをするなど、好奇心旺盛な性格です。そんな谷口



市政テレビ番組の市民リポーターとして秋田市の魅力を紹介



谷口絹枝さん(山王)

大仙市生まれの東京育ち。昨年4月、家族で秋田市へ。主婦業のかたわら、市政テレビ番組リポーターも務める。温泉・食材・子育て環境など、さまざまな角度から秋田市を“分析”中。

秋田の まち

秋田市初心者の谷口さんは週末になると家族で秋田の魅力探し。海にはセリオン、山にはオーパス、そして温泉も点在…。日帰り圏内にレジャー施設がそろった秋田市の良さを満喫します。「若見温泉(河辺)も

さんが週末に外食している人たちを見て気づいたことがありました。それは、おじいちゃん、おばあちゃんを含め親子三世代で食事をしている人たちが多いこと。「東京ではあまり見なかった光景。秋田の人って、家族の絆^{きずな}が強いんだなあ」。

好きなお湯の一つ。しっかりととした泉質で、秋田の寒い冬も乗り切れそうです」。谷口さんは、秋田へ遊びに来た親戚や友人にまちを案内しているとき「今までよく知らなかったけど秋田って案外良いところだね」とよく言われるそうです。秋田の魅力を少しでも多く発見しようと、日々市内を駆け回っている谷口さんはこう話します。「秋田市は魅力あるまち。その魅力をもっともっと全国に向けてアピールしてもいいんじゃないかな。わたしも応援しますよ!」。昨年、「観光元年」を宣言した秋田市に谷口さんが送ってくれたエール。とても心強いですね。

秋田の 暮らし

地元産の新鮮な食材が豊富にあること。主婦として見逃せないポイントです。食品売り場で食材を探す目はいつも真剣。「魚は…このハタハタ新鮮! 野菜は…大根みずみずしい! 秋田の食材、合格です!」。谷口さんは母親の目でも秋田を眺めます。「子どもたちの目が生き生きしていますね。このまちだったら安心して子育てできそうです」。秋田市探しが奔走する谷口さん。わたしたちも負けてられませんね!



秋田の食材もいろいろ研究!(卸町の秋田まるごと市場で)

秋田には いろいろあって うらやましい

秋田の 人

「[]」かく熱い！プレー中もみんなの熱気がすぐく伝わってきます。ハピネッツ入団前、新潟市と大分県別府市のチームでプレーしてきた水町さん。これまでのまちとの違いは「ファンの熱さ」だと言います。若者から高齢のかたまでが感情あらわに応援してくれる姿に強い衝撃を受けました。「自分も含めて地方の人は恥ずかしがり屋だと思

っていたのですが…。地方のイメージが良い意味で壊れたようですね。

秋田の まち

水町さんの趣味はまちの散策で、お気に入りには通町。「整然としたきれいな通りに懐かしい感じの商店が並び、味わい深いです」と話します。

秋田の 暮らし

ハピネッツの選手たちでお酒を飲みに行ったときに驚きの事件が…!?「まだ全員そろっていないのに、突



水町亮介さん(泉)

佐賀県出身の29歳。昨年8月、プロバスケットボールbjリーグ「秋田ノーザンハピネッツ」入団のため秋田市へ。主将としてチームを引っ張ります。軽快な語り口のブログ(インターネットの日記)も好評！
<http://ameblo.jp/mizumacho/>

然、菊地勇樹選手(秋田出身)が「練習～」って言いながら先に飲み始めたんですよ。いろいろな町に住みました。こんなに愉快な風習は初めてでした。水町さんは出身地・佐賀を紹介するとき、何と云えばいいか悩むそうです。「秋田だったら竿燈のまち、秋田美人のまち、きりたんぼのまち…と、すらすら出てきますよね。他県の人も「うんうん」と、うなずく。うらやましいです。そして水町さんは「魅力いっぱい秋田。ハピネッツもその魅力の一つになるよう頑張ること、それが新しいふるさと秋田への恩返しになると思っています」と力強く話してくれました。



さまざまな商店が並ぶ通町。水町さんは好物の和菓子を買ったそうです



試合では鋭いドリブルで攻撃の起点に(昨年10月15日の仙台89ers戦)



今年もよろしくお願ひいたします

市副市長 市副市長 市副市長
市副市長 市副市長 市副市長

- 榎高赤長佐菊相芦佐近宇小渡相菅花小成猪藤加小鎌工熊齊小鳥堀石岩菅菅今齊人伊佐倉佐鈴加中石穂
橋坂川木地原田原江美田辺場原田林沢股田屋原田藤谷藤寺井井塚谷原原川藤見藤藤田藤木谷川井積
智光昭晃達政晃孝喜洋喜良金弘清一淳竹正千鶴 修四重善 明秀政博琢雄 高巧哲芳純忠正康周
清徳一一二雄志敏夫博朗雄雄二夫美夫子作義子讓悦郎隆悦誠修美博良文哉策勝司一治浩子夫美行悦志